

2019年12月17日

2021年秋から生産開始

インド南部に配線器具の新工場を建設

旺盛な需要に対応



【新工場外観図】



【新工場外観図（鳥瞰）】

パナソニック ライフソリューションズ インド株式会社（本社：インド共和国 マハラシュトラ州 タネ）は、このほど、インド南部のスリシティ工業団地（アンドラ・プラデーシュ州）において、工場を新たに建設することを決定しました。このスリシティ新工場では配線器具、電線、ブレーカなどを製造し、電設資材の工場としては、インド国内で4カ所目の生産拠点となります。投資金額は2,946百万ルピー（約46億円）で、2021年秋の稼働を目指します。

インドは近年、経済が飛躍的に拡大し、GDPは2030年まで年率6%で成長すると見込まれ、大都市に加え、中規模都市の発展も期待されています。また人口も、世界で中国について2位と多く、今後も中間層（※1）を中心に、大きく増加すると予測されています。

このような環境下、オフィスビル、マンション、住宅などの建設が相次ぎ、それに伴い、スイッチ、コンセントなど配線器具をはじめ、電設資材の需要が高まっています。旺盛な需要に対応するためには、生産能力の増強が急務であり、当社は新工場を建設することになりました。

また、当社は現在、インド国内で電設資材の生産拠点として、北部にハリドア工場、西部にダマン工場、カッチ工場を保有していますが、購買力が強く、今後の成長性が期待されるインド南部には拠点がなく、スリシティ新工場を建設することで、アクセスを強化します。

新工場では、2021年に配線器具、順次ファン、ブレーカ、電線の生産を開始する計画で、今後著しく増加する中間層向け商品の強化を図ることと、販売拡大を目指します。

当社は、これまで培った技術やノウハウをもとに、快適、安心・安全、豊かなライフスタイルを実現する電設資材・設備をグローバルに提供していきます。

■新工場概要

- 【名称】スリシティ工場(仮称)
- 【生産品目】配線器具、電線、ブレーカ、ファンなど
- 【所在地】インド共和国 アンドラ・プラデーシュ州 スリシティ工業団地
- 【生産開始】2021年10月(予定)
- 【土地面積】133,546平米
- 【建物延床面積】35,000平米
- 【従業員数】約600名(2021年度)
- 【生産能力】860万個/月(2021年度)

※1:世帯所得 5,000 USD ~ 35,000 USD

【ご参考】

■パナソニック ライフソリューションズ インド株式会社の概要

- 【社名】Panasonic Life Solutions India Private, Limited.
- 【本社所在地】インド共和国 マハラシュトラ州 タネ
- 【設立】1963年
- 【代表者】Vivek Sharma
- 【拠点数】インド共和国 国内31拠点
- 【事業内容】配線器具、ブレーカ、電線、照明器具、ランプ、ファンなどの製造・販売
- 【従業員数】9,166名(2019年3月末現在)
- 【売上高】341億ルピー(約530億円)(2019年3月期)
- 【資本金】44.3億ルピー(約68億円)(2019年3月末現在)

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。